

令和6年度 厚木市障害者協議会 第3回就労プロジェクト

日 時	令和6年10月25日(木)14:00～16:00	
場 所	アミューあつぎ ルーム 610	
出席者	障害者就業・生活支援センターぼむ、相州メンタルクリニック、 ウェルビー本厚木駅前センター、サンテ、Cocorport 本厚木駅前 Office、 Manaby 本厚木駅前事業所、アフターネオ本厚木 【当事者】 相州メンタルクリニックより1名、ゆいはあとより2名、サンテより1名、 Cocorport 本厚木駅前 Office より1名 【事務局】 市障がい福祉課、相談支援事業所すぎな、基幹相談支援センター (順不同・敬省略)	
1. 参加者紹介、顔合せ ・当事者、プロジェクト委員それぞれ自己紹介を行う。 ・当事者の方が参加される為、初めにプロジェクトの趣旨を説明。 ・去年の合理的配慮についての新聞記事の紹介。 ・厚木市で実施したアンケート結果についての説明 > 合理的配慮について、なかなか理解が難しい部分だが、障がいの理解、合理的配慮がもう少し進み、お互いの思いや気持ちが分かり合える方向になればと思う。就労プロジェクトとして、会社に対してのセミナーやシンポジウムを開催したが、企業側の参加が少なく、反応が薄かった。直接企業にアプローチするのではなく、働いている皆さんの力を借りて、違う方面から企業に対して合理的配慮、障がいについて理解していただき、職場定着など、長く働けるようなものを作っていければと思う。 主旨としては、支援者が皆さんの声を聞き取るのではなく、生の声を直接企業に届けられるように座談会を実施し、動画を撮影。それを企業側にも見てもらえるようにしていきたい。皆さんにご協力いただきたく、今回集まっていたいた。 ・質問 > 参加者の中で動画に関してはNG、冊子ならいいと希望されている方がいる。どのような配慮ができるか。 ・顔は分からないように、似顔絵等で顔が隠れるように編集できる。 ・声を変えると、どの方が話しているのかが分からないため区別化できない。 ・名前や会社名は出さない。カットもできる。 >これらのことを情報提供して、ご本人が出ない、という事もありうるがどうか。 → それは致し方ない。参加していただいて、動画はNGでも、編集はできるので、参加してもらえればと思う。		

2. フリートーク(座談会)のテーマについて

・テーマを決めた方が、話を進めやすいと思うので、2～3個テーマを決めたい。本日参加している方に、意見を出してもらいたい。

・基本的には、「合理的配慮」、「障がい理解」をテーマにしたい。

>トークは、どこに向けて伝えていくのか

→ 企業へ向けて伝えていきたい。関わり方を知ってもらいたい。自分はこういう障がいがあるので、このようにしてもらいたい、ここに気をつけて欲しいと伝える。僕らなりの意見を言ったほうが良いのか。自分が求めているものを伝えた方が良いのか。

>生の声を聞きたいので、あってよかった、あったらいいなという合理的配慮を聞くのはどうか。

→ 有効的、効果的な合理的配慮。どちらかであれば、話やすいのではないかな。本日来られている S さんは、合理的配慮について会社の人事からアンケートを受けた。上手くいっている、いっていない事例も集めて、会社が一つのマニュアルにしたいとのことだった。

両方の意見があった方が、企業が見て不快にならないよう、ポジティブな話にもっていくのであれば、どちらも聞いたほうが良いと思う。

>逆に企業から聞きたいという内容はあるか。

→ なんとか働ける状況であれば、そういう人たちが困っていること、こういう人がいて困っている等、障がい近ければ、なんとなくわかる事もある。聞いてみたいという事があれば、答えやすいのかなと思う。

>就労移行事業所へ企業から聞かれることはあるか。

→ 指示通りにやってもらいたいと言われることはある。働いている人の理解もあるが、指示の出し方にも影響される。できるであろうと思って任せたのが、難しかった時もあったと言われる。企業に求められる事と言うより、そこまでの支援に至っていない事があった。どうしたら分かりやすいのかを提案したことや、企業に本人への負荷を減らしてもらえよう働きかけたこともある。

>質問形式のように、投げ掛けた方がいいのか、話を進めやすいか。

→ 話に対して意見を返す方がやりやすい。

→ テーマがあって、投げ掛けられた方がやりやすい。何か話してくださいというより。

→ 企業が思ったより障がい者雇用が進んでいない、そういった所にアプローチするのもいい。

→ 質問を聞いて、それを応えるといった形式の方が答えやすい。

→ 折角アンケートを取ったので、この結果について、話をしていくのはどうか。全部聞くと時間が無くなるので、ピックアップして聞く。

→ アンケートが、企業側の質問ではなく、障がいを抱えている人の意見につながるのかという疑問点もある。これをかみ砕いて答えるのか。

→ 当事者の困っていることを伝えていくことでネガティブな話になってしまうのでは、という懸念もある。

・今回は、当事者の意見を会社側に発信できるようにする。発信ばかりではなく、今後、企業へ入ってもらうのもいいと思う。まずは発信。企業からの意見は聞き取らず、アンケート等からテーマを起こして行ければと思う。

> 企業から当事者への質問はとても大事だと思う。今回はできなくても、2回目の検討もしたいので、今の段階で、あったらいい配慮、してもらってよかった配慮をうかがいたい。

→ 福利厚生が手厚い。休みが多く、すぐ休ませてくれる。うつ症状もあり、薬を飲みながら仕事をするのはとても疲れる。それを伝えと、従業員13人いるが、全員が理解してくれているわけではない。残りの方は何で？と言われる。その方に伝えようとすると人間関係がぎくしゃくするので、休みたいと言う時は上司に言って休ませてもらっている。

→ 合理的配慮をしていただいてありがたいと思う。担当上司との信頼関係ができていない時に、上司に話しづらい。担当ではなくても相談して良いと言われ、信頼できる人に話していた。聴覚、身体、色々な障がいのある方が働いている。一応に介している職場で働いていると、色々な配慮が必要になる。自分達が求めている所、会社も分かっていると思うが、100%はこたえられない。会社は利益を生むところ、いつまでも同じ配慮をされたまま、いく訳には行かない。障がいを抱えて、仕事をしていくにあたり成長をしていかなければいけない。自分ができる事も考えていかなければいけない。このギャップをどう説明していけばいいのかと思う。この点を前提に話し合いができればと思う。

→ 勤務日数、時間を配慮してもらった。休憩時間をとらせて欲しいと伝えた時に、会社から定期的な面談を提案してもらい、役に立っている。

→ 企業から配慮してもらったのは、初めから時間を遅い時間にしてもらった。人ごみを避けたいと言う人もいた。一ヶ月ごとに面談をして、働いてみてどうか、会社と話し、少しずつ慣らして、勤務時間を伸ばしていくという事をしてもらった。すぐ考えてもらい、その人に合わせた時間や働き方にしてもらった。延ばす時にもトライアルから始め、働き始めて一年くらい経つが、徐々にできるようになってきた。

→ もともとタイムプレッシャーがあった。会社の理想に沿って、教育のペースを詰め込まれるとパニックになるので、配慮してもらった。自分なりのペースで進めさせてもらえ、精神的負担がなかった。文化の違いを想像してもらうと分かりやすいと思うが、発達に関わらず、考え方の違いがある。そのすり合わせの相談がいつでもできるという環境が整っているのが、とてもありがたいと感じた。

> 時間の配慮は共通にある。今の話を聞いて、良いと思った点はあるか。

→ 話し合いがあった時もあるが、今はない。何となく上手くいっているからだと思うが、すごく我慢している。本当は沢山話を聞いてほしい、でもこれを言わない方が上手くいくのでは、と思って我慢している。定期的に話を聞いてくれるのはうらやましいと感じた。

→ 自分の時は、毎日ではなかったが、新入社員に対し、上司が毎日夕方に今日の振り返りの時間を作ってくれている。研修期間が大まかに決まっているが、個人の能力に合わせて、長くすること等柔軟に運用している。同じ会社でも色々な業務があるので、業務を試し、試して難しい場合は別の業務を試してみる等柔軟に対応している。定着が良くなると思う。

→ タイムトライアルというのはうらやましいと思った。時間を長くして働いてみたいと思っても、体調を崩し、元に戻すことはなかなか難しいと思うので、お試しできるのはいいなと思った。うらやましいと思った。

→ その人に合わせた仕事の提案、合わせてくれているのはいいなと思った。合わせてくれることが働きやすさに繋がって、続けられたのかなと思っている。

→ 今の職場の配慮にかなり満足しており、ありがたみを感じている。これ以上の配慮を求めることは無い。時間の調整をしてくれるという所は、すごくありがたいと思っている。

・今話合った中で、沢山の意見が聞けた。お話いただいた当事者の皆さんも他の方の話聞き、自分の企業になかったことを見つけることができ、企業のいい事例になりそう。そういった形で話し合いができればと思う。

・本日出席できなかった当事者2名へ事前に伝えたいことを聞くと、平日休みが良く、今までの支援が途切れずに続けられることや行政手続きへも行けるとのことだった。土日休みだと受けられる支援がなく、デイケア、相談先、行政などはお休みになってしまう。

もう一人は、週5日ではなく、週3～4日の勤務が合っており、その方が安定するとのことだった。会社からの要求は上がるのに、最低賃金しかもらえない。安い労働力で仕事をさせられている感じで、要求するなら、賃金も上げて欲しい、と言う思い等を話せる場があるといいと言っていた。

> 今回、お伺いした内容を、事務局で精査し、質問の内容について話し合うという形でよいか。

→ できれば質問の内容を、先に提示してもらえれば言語化しやすい。準備しておきたい。

今日は当事者間の距離が遠いので、近くで話をしたい。寂しいし、コミュニケーションを取って話をしたい。今日の形だと、途中で緊張して話づらい。MCの方にも相槌を入れてもらいたい。

→ 顔を見ての方が話しやすい。デイケアのプログラムでもそこを重要視している。SSTや何かを話す時のプログラムでは、輪になって、顔が見えるようにしている。やはり反応が分からないと不安になる。テクニックとして、これを言語化してくれたこと、すごくありがたい。

> 本日参加されている方で、伝えたい事があれば、質問を作りやすいので伺いたい。すぐ出てくるようであれば教えていただきたい。

→ 一見普通に見られる。普通に今まで生活し、大人になってから障がいがあるとわかった。普通を求められるけれど、その普通ができない。障がい者雇用なのだから、皆と一緒にできないことを分かっしてほしい。健常者として扱ってほしいと思っている人が多い。「あなたは大丈夫ね、健常者と同じだから。私達と一緒によ」という事がやさしさで、擦り付けられることもある。そうではない。普通の人と一緒に働いて、無理で白旗挙げて、障がい者雇用で働いているのだから、もっとハードルを下げてほしい。皆さんが思っているよりもっと低く下げてほしい。自分はこの人生を選んで歩いているのだから求めないでほしい。先ほどの意見でも、こちらは最低賃金で働いているから、最低限の仕事をさせてくれと思う。もちろん、大抵に扱ってもらう事は自己肯定感を上げるけれど、できないという事も分かっしてほしい。優しくしてほしい。当たり前に関係なく皆と一緒にやっていることは、こちらは薬を飲んで、皆の気を悪くしないように、こういう喋り方をしなくてはいけない等、たくさん練習してその時に挑んでいる。相手からしたら一回目でこれができると思われてしまう。ルーティン化し、できるようになった。すごく息苦しい。もっと褒めてほしい。褒められれば自己肯定感が上がる。障がいのある方は今まで褒められずに過ごして来た人が多い。これしかできないのにもっと褒められたいということを伝えたい。

> 会社だけの配慮や障がい理解だけではなく、実際に生活している中で思っていることや感じていることもあると思う。大人になってから障がいがあった方もいる。今伺った話を含めてトークの時に話ができると思う。他の方はどうか。

→ だいたい言いたいことを言ってくれた。

→ 企業からも、もちろんのこと、両親家族からもなかなか理解されなかった過去もあった。ふさぎ込んでしまった時期もあった。配慮してくれとは言わないが、普通に生きられるということは、障がい者にとって恵まれていると感じる。また、それを当たり前のようにできるように、常識になっているということが我々の生きづらさの正体になっているということを、まずは理解していただくことが、一歩として進むのかなと思う。

→ 精神障がいは、目に見えないところ、分からない。急に調子を崩していても、他の人には見えないことがある。見えない所で傷ついている、障がいがあることを知ってほしいと思う。

→ 働く前はすごく不安だった。差別されるのが怖かった。実際はそんなことはなかった。健常者と障がい者、いい人もたくさんいて、会社の方々の支えがとても大きかった。障がいに関係なく、皆で一

つのものを作るという達成感がすごいなと思う。それで今までやってこれたと思う。

・テーマは事務局で決め、事前に各事業所を通して当事者へ伝えることとする。

3 今後のスケジュールの確認

日程調整について

→2～3か月に一回の実施であれば、平日の回、土日の回を作ると、参加しやすい人達もいるのでは。この日にやりたいと言われると、休みが取り辛い。

>今回が良ければ、次に続くのか。単発か。

→今回は動画撮影があるので、単発。成果物を見た他の当事者が参加したい…と参加者の輪が広がるのでは。会社からの質問を聞くとなれば、それが第2回3回と続いていくと思う。まずは、一回実施し、またその次、と考えていきたい。特化していくとなれば、どんどん開催していきたい。

>出てくださる方もいるので、その方のスケジュールを優先、なるべく皆が参加できる日を選びたい。

→参加したいという人が参加できるよう、2回に分けるのも良いと思う。

→2日分候補をあげて、どちらかに参加できるようにしてもいいと思う。

→2回に分けて参加者を増やし、色々な声を伺った方が、届けやすいのではないかなと思う。

→分けることで、メリット・デメリットがある。メリットは参加者の方が増える。デメリットは一回の参加者が減り、日程調整が難しくなると思う。

→今参加している人たちのなかで、日程を決めていくのはどうか。

・今回参加いただいた方で、参加出できる時間を確認し、平日の夕方となる。

開催時間・動画について

→動画にした時に、見る側を考えると、短くまとまっている方が良い。長いと見る時間を作ってくれないと思う。

・10～15分、トータル45分位細かく分けて動画にまとめる。

・疲れやすいので、途中で休憩時間を含め、開催する。

・開催日は12月20日(金)18:00～20:00 最大時間は21:00まで

・入室は17:00～、参加者が軽食を食べながらゆっくりできるようにする。

以上。